

# ソロモン諸島における環境配慮型トイレ普及事業

## 実施機関・協力機関

オリジナル設計(株)、大成工業(株)、(財)日本環境衛生センター  
埼玉県、日本・ソロモン友好協会

## 事業の背景

- ソロモン諸島においては、衛生インフラ、特にトイレの整備が行き届かないため、島民による屋外排泄が習慣化している。
- ホニアラにおいて普及してきているセプティックタンク(腐敗槽)も、管理が不十分である等により生活排水が垂れ流しとなっており、河川、海の汚染が進むとともに、水系感染症(トラコーマ、下痢など)の原因となっている。

## 事業の概要

- 環境配慮型トイレTaisei Soil System(以下TSS)を学校や観光地、既存の公衆トイレなどに設置することを通じて、下水道未整備からもたらされている不十分な生活排水処理の是正補完を行い、市全体の衛生環境の改善を図る。
- F/S調査(H25実施)では、学校、病院等のトイレ利用状況調査、実証試験候補地の選定、関係政府・企業との調整などを実施。
- 実証試験(H26実施)では、以下についての調査を実施。
  - ・セントニコラス学校、マタニコサイトでのTSS実証試験実施。目的はTSSの効果確認。内容は、TSS資材輸入および現地調達、建設、使用回数調査や水質試験、維持管理など。
  - ・現地ワークショップ開催。目的は、TSS事業の理解と協力を得ること。主催はホニアラ市。
  - ・現地政府機関・関係機関との協議。

## 実施場所



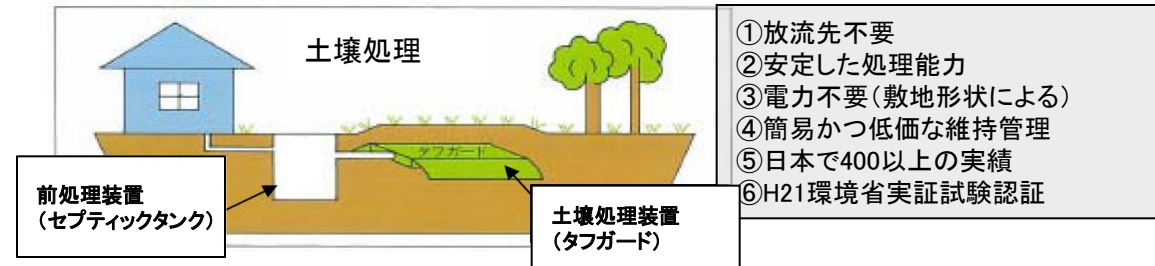
## ソロモン諸島ホニアラ市



## 導入する技術の概要

## 環境配慮型トイレTaisei Soil System(TSS)

- TSSは、日本古来の「肥溜め」「畑」の原理を利用して、無電源(敷地形状による)・無放流(再利用可)で処理可能な効率性の高い製品。「タフガード」という特殊な素材を用い、土壌処理・蒸発散作用で浄化する。
- TSSの処理水質は、日本の曝気式の浄化槽と同等。設備の構成がシンプルで、汚泥の発生量が少ないため、維持管理が簡易。



【TSSの概要図と特徴】

## 期待される成果・事業化展望

- 期待される効果：TSSの普及により、衛生環境の改善と、同時並行して実施する衛生教育・啓発活動を通じ、島民の衛生意識向上に資する。さらに、本事業での技術移転を通じて、現地での雇用機会の創出に貢献する。
- ビジネスモデルの概要：日本と現地の両企業の協働によるTSSの販売促進と現地企業による有料トイレ事業促進、日本と現地両企業によるメンテナンスと排水処理技術の移転事業と衛生教育事業の促進など。

